

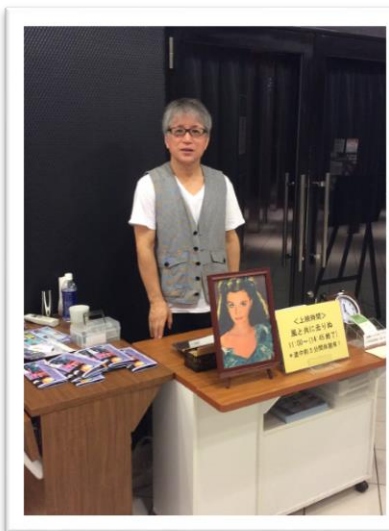
## インタビュー

福岡の持続的発展につながる活動をしている方々にインタビューしてきました。

**はかた夢松原の会** シーサイドももちにきれいな松林があります。この松を植えたのが NPO 法人はかた夢松原の会。理事長の磯谷さんと事務局長の井上さんにお話を伺いました。当初、人工海浜となった百道浜は、南国ムードを出すためにヤシの木を植える計画だったとのこと。しかし、かつて博多湾は白砂青松の海浜だったのだから、松原を復元しようというわけで、昭和 62 年「夢松原の会」が発足しました。百道浜から海ノ中道、そして中国へ。毎年一本一本、人の手で植えられる松の苗は、今年 3 月、5 万本に達しました。その他に、放置自転車の問題や緑のまちづくりにも取り組んでいます。そして、今、他の NPO などとも協力し、海や水源地の環境問題への取り組みを始められました。皆さん、博多湾で車えびやたこが取れる

ことをご存知でしょうか。はかた夢松原の会の約 30 年の地道な活動が、今のステキな福岡に大きく貢献をしてくれていると感じました。

**博多映画道場** 福岡で映画を作り、上映している NPO 法人博多映画道場。代表の柴田さん、実は、かつて西新にあった映画館「てあとる西新」の支配人でした。ただ映画を上映するだけで



はなく、映像が飛び出すゼロハンメガネを作るなど、上映するからには映画をより楽しめるよう、様々な工夫を凝らしていたそうです。そして現在、今の映画は、若者の映画離れやお年寄り向けの映画は上映していないことに問題を感じ、柴田さんは映画の配給会社を経て、懐かしの名画を上映する活動を行っています。その一方、二年に一本のペースで十年間映画を製作し続けています。スタッフも役者も舞台もすべて福岡。正真正銘“福岡産”の映画です。しかし、映画の製作にはお金がかかります。福岡市の映画製作に対する支援は、演劇活動と比べ、非常に限られているようです。柴田さんは、今後、製作した映画の上映に力を入れていきたいとのこと。キャパ 30 人ぐらいで映画の上映が可能な場所がございましたらお知らせください。上映機材は柴田さんがお持ちなので、場所をご提供いただけたら幸甚です。いっそ、市役所の中に、福岡産の映画を上映する常設映画館があってもよいのでは、と思いました。

**UR 都市機構九州支社** 団地マネージャーの中村さんと住宅経営部の主幹石井さんにお話を伺いました。UR は、団地のコミュニティ活性化の一環で、孤食を防ぐ活動を行っています。8 月 3 日に香椎若葉団地で、同

20 日に星の原団地で、それぞれ、大学や企業などの協力も得て、子どもから大人まで集える場を設けることを目的に、集会所で食事の提供や学生による学習支援などのイベントを行いました。可能であれば、今後、定期的に開催していきたいとのこと。中村さん曰く、このような活動は「コミュニティの基礎体力作り」としても捉えているそうです。震災などが発生したとき、この基礎体力がとても大切だそうです。



## オリンピックでのサステナビリティへの取り組み



左の写真はリオ・オリンピック委員会の本部の建物。オリンピックのために建てられた仮設建築物です。この建物は、オリンピック終了後、解体され、材料の80%は別の建物

で再利用されるそうです。また、ごみ削減のためのパッケージに関するサステナビリティ・ガイドラインも作成されました。その他に、バイオディーゼルの利用など、多くの環境面に配慮した取り組みがなされましたが、人材面の取り組みもあります。例えば、無料のオンライン英語学習教材です。ボランティアを含む、オリンピックに従事する人の英語学習のために用意されたものですが、英語を学習したいという一般の人にも提供されました。

4年後の東京オリンピックでは、「持続可能性に配慮した運営計画」を策定し、持続可能性に関する取り組みを推進していくことになっています。「気候変動（ローカーボンマネジメント）」、「資源管理」、「大気・水・緑・生物多様性等」、「人権・労働・公正な事業慣行等への配慮」、「参加・協働、情報発信（エンゲージメント）」の5つを主要テーマとして、計画の具体的な内容が検討されています。

オリンピックで実施されたサステナビリティに関する取り組みは、福岡で開催される祭りやイベントにも応用可能ではないでしょうか。

編集後記：問題を解決するために様々な工夫を凝らし努力し続ける方にお会いして、社会をより良くするために私はどう関わっていけるのかを考えるきっかけになりました。(吉岡)

【発行者】  
特定非営利活動法人イマジン  
福岡市早良区祖原 14-20  
Tel 070-5818-6150  
Email info@imagine.or.jp



サステナブルシティ福岡キャンペーン  
<http://sustainablecityfukuoka.jp>

# For You and For Me

第5号 2016年9月

## ご挨拶

リオデジャネイロ・オリンピックは、盛り上がりましたね。日本は史上最多の41個のメダルを獲得しました。選手の皆さん、関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

さて、実は、オリンピックも持続可能性を追求しています。リオ・オリンピックでは、廃棄物を少なくした仮設建築、バイオディーゼルの利用など、様々な取り組みが行われました。東京オリンピックは、史上最も持続可能性に配慮したオリンピックにしたいですね。

特定非営利活動法人イマジン 理事長 渡辺久也

## 特集：“持続可能な”オリンピック



持続可能な経済・社会の実現は世界共通の課題です。オリンピックといえども例外ではありません。リオ・オリンピックでは、地球

(Planet)、人々 (People)、繁栄 (Prosperity) の3つの側面から、持続可能性への取り組みが行われました。2020年の東京オリンピックでも同様の取り組みが進められています。詳しくは裏表紙へ。

【イベント情報】ふくおか“できる！”マーケット：NPO・ボランティアや社会貢献に取り組む企業の日頃の活動を発信し、共感の輪を広げていくためのイベント。10月30日(日)、天神中央公園に於いて。

【スタッフ募集】サステナブルシティ福岡キャンペーンの活動を支えていただけるスタッフを大募集。福岡で活躍する方々と一緒に取材し、PRしていきましょう。詳細はお電話 (Tel. 070-5818-6150) ください。